



真岡市立中村小学校だより

みどり野

No. 6

令和4年9月20日

学校経営理念 「私たちは、子どもたちが自立し、協働して社会に貢献できる人間になるための基盤を育成します。」
学校教育目標 1 めあてをもって勉強する子 2 なかよくたすけあう子 3 じょうぶでがんばる子

実りの秋

学校の周りの秋蕎麦は白い花を咲かせ、水田ではたわわに実った稲穂が頭を垂れて、実りの秋になりました。日中の蒸し暑さは相変わらずですが、朝夕の心地よい空気には、確実に季節が移ろうとしているのが感じられます。

コロナ禍3回目の今年の夏は、行動制限のない夏休みとなりました。感染防止対策をしても、感染拡大第7波は、栃木県や真岡市にも多くの感染者を出しています。2学期も、感染対策をしっかりと取りながら、子供たちの成長を応援したいと思います。

2学期始業式の校長講話では、2学期に心掛けて欲しいことを話しました。1学期は「笑顔で元気に挨拶をしよう。」でした。2学期はこれに加えて、「ありがとうを言葉で伝えよう。」と、呼びかけました。将来、たくましく生きるためには、ありのままの自分に自信をもって、自己肯定感を高めること。周りの人たちとコミュニケーションを取りながら協働していくために、社会性をしっかりと身に付けること。これらが基盤になると思います。その力を確実に育てるために、挨拶を交わしたり、周囲のあらゆるものに感謝したりする心はとても重要になります。一人一人が良好な人間関係ができれば、よいクラス、よい学年ができ、そして、すばらしい中村小につながると考えています。ご家庭、地域でも、明るい挨拶やありがとうの言葉のシャワーを子供たちに降り注いでいただけたら幸いです。

2学期も、学校や地域のコミュニティの中で、子供たちが元気に成長できるよう、職員一同精一杯がんばりますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。(校長あいさつ)



9月5日、クジャクの雛が3羽産まれました。子供たちのアイドルです。

本校でクジャクのひなが3羽誕生した話題を、新聞社やNHKなどから取材を受けました。

左：東京新聞の取材
右：読売新聞社撮影

